



デジタル自動撮影カメラを仕掛けてみたら

自然博物館ねいの里職員 岡 圭一

デジタル自動撮影カメラが出てから、10年程が経ったでしょうか？

テレビ番組などでも紹介されているので、お分かりの方も多いと思いますが、カメラのセンサーが哺乳類や鳥類を感知すると自動で写真や動画映像が撮れ、回収したメディアをパソコンに繋げば、結果が直ぐに確認できる優れたものです。今では、画像の画素数や映像の解像度も上がり、綺麗な写真や高精細な動画も見られるようになりました。

さて、哺乳類は、警戒心が強く主に夜行性であるため、その姿を直接観察することは難しく、痕跡から推定することが中心になりますが、これも経験を積まないとなかなか難しい。

そこで、うまく仕掛けておけば、客観的に画像や映像が撮れるというこのカメラに興味を持ち、2013年頃からねいの里に仕掛けてみました。

実際に仕掛けてみると、次のようなことが明らかになりました。

- ① 「良い」画像や映像はなかなか撮れないこと。
- ② 完全防水ではないので、雨や雪解けに注意すること。(ショットの危険)
- ③ ネズミは撮影可能(機種による)であるが、同定するのは難しいこと。
- ④ 膨大なデータを確認するには、忍耐がいること。
- ⑤ 鳥類も撮影可能であること。

紙面では、映像(動画)を載せることは困難であるため、幾つかの画像(写真)をご紹介します。



〈イノシシ 2014.10.31 3:07〉



〈ネズミ類 2014.10.31 4:56〉



〈イタチ 2014.11.10 02:10〉



〈ニホンジカ 2014.11.16 17:02〉



〈タヌキ 2016.3.22 10:23〉



〈 テン 2016. 3. 28 9:24 〉



〈 ハクビシン 2016. 4. 3 4:14 〉



〈 ニホンリス 2016. 7. 25 8:12 〉



〈 ニホンノウサギ 2017. 5. 7 19:59 〉



〈 カモシカ 2017. 12. 22 11:23 〉



〈 キツネ 2018. 2. 7 11:45 〉



〈 フクロウ 2016. 8. 4 16:29 〉

「 2019年(第18回)アサギマダラのマーキング調査結果 」

〈富山アサギマダラ調査グループ〉

以前は僧ヶ岳林道や有峰東谷、白木峰など、遠くへ出かけてマーキングをしていました。3年前、藤條さんが朝日町^{みつほ}笹川三峯グリーンランドの一角に作られたフジバカマ畑にアサギマダラが集まるようになり、今では三峯でのマーキングが主流になっています。

〈マーキング実績と県外で再捕獲されたもの〉

マーキング実績		再捕獲されたもの	
場 所	頭数	頭数	再捕獲場所
朝日町笹川三峯	1 1 7 7	3 4	大分県 (2)、山口県 (2)、愛媛県 (6)、高知県 (3)、徳島県 (4) 兵庫県 (5)、大阪府 (1)、京都府 (3)、滋賀県 (1)、長野県 (3) 石川県 (4)
有 峰	1 8 5	3	長崎県 (1)、愛媛県 (1)、兵庫県 (1)
鳥帽子山林道	1 1 3		
その他	1 2 4	1	高知県 (1)
合 計	1 5 9 9	3 8	

〈 愛媛県豊川市で撮影されたもの 〉



〈県内で再捕獲したもの〉

再捕獲場所	頭数	マーキング場所
朝日町笹川三峯	6	静岡県 (1)、長野県 (5)
有峰、白木峰、鳥帽子山	3	長野県 (3)
合 計	9	

化粧炭を焼いてみました



3月20日に化粧炭を焼く行事があるので、試し焼きをしてみました。用意するものは、炭にする材料、空き缶、アルミホイル、針金。

- ① 空き缶に炭にする材料と緩衝材として枯葉を入れる。
 - ② アルミホイルを被せ針金を巻いて蓋をし、蓋に小さな穴をあける。
 - ③ 缶を火にかけて加熱すると、小さな穴から水蒸気と煙が出てくる。
 - ④ 煙が出なくなったら火から降ろし、冷えるのを待って取り出す。
- 火にかけて待つこと約1時間30分で煙が出なくなりました。蓋を開けてみると、緩衝材として入れた枯葉もきれいに焼けていましたよ。
(材料：栗のイガ、マツボックリ、樺の実、緩衝材の枯葉)

● (11月3日) 「雑木林探検PARTIII」



自分で火を起こして焚火をする体験をしました。木の棒を回転させ、板に擦り付けて火種を作るのが一苦労。木の棒がうまく回転しなかったり、できた火種が散らばってしまったり。ようやくできた火種に息を吹きかけ、火を起こすのもなかなか大変だったようです。子供たちよりも保護者のほうが真剣なようでした。

おがくずで火種を包み、そっと息を吹きかけて火を起こす。うまく火種を包み込み、熱が逃げないようにするのがコツ。



焚火では棒巻きパンやマッシュマロを焼いて楽しみました。薪は7月28日の「雑木林探検PART I」で伐採した木で作ったものも使いましたよ。

● (12月1日) 「クリスマスリース作り」



11月17日に「蔓植物観察と輪っか作り」を行い、クズやノブドウの蔓を巻いて40個ほどの輪っかを作っておきました。その輪っかにドングリやマツボックリ、緑の葉や赤い実、リボンなどを思い思いに飾り付け、クリスマスリースを作りました。シンプルなものや華やかなものなど個性的で趣のあるリースになっていましたよ。



● (1月4日~6日) 「春の七草頒布会」

今年も七草を揃えることができ、無事に七草頒布ができました。スズナとスズシロは畑で栽培します。ホトケノザは水田で、ナズナやハコベは畑で、セリは園内の水辺で、オギョウは竹林で雑草として生えているものを年末から採取します。

それらを水洗いするのが大変な作業。長時間なれない姿勢で作業するので、腰が痛くなります。きれいになったものをパック詰めして、準備完了です。



採取



水洗い



パック詰め



完成品



オオバタネツケバナ



タンポポ



ノアザミ

七草を探そうと思ってもなかなか見つからないものもありますが、七種(ななくさ)と読むこともあるので、七種類あればいいのです。クレソンによく似たオオバタネツケバナやタンポポ、ノアザミなどはどうでしょうか。

自分だけの七種(ななくさ)を楽しんでみませんか？

ねいの里 これからの行事案内

● 1月26日(日)「カンジキハイクと水鳥観察」

(自然塾の会行事) 対象者：自然塾の会員及び一般
9:30～12:00 集合場所：野鳥の園駐車場(古洞ダム)
野鳥の園(古洞ダム)でカンジキハイクをしながら水鳥の観察をします。



● 2月11日(火・祝)「動物の体を調べ ジビエ料理を楽しむ」

(定員に達したため、締め切りました。)

9:30～12:30 集合場所：ねいの里 対象者：一般
イノシシやシカの体の構造を観察と、鶏の手羽先で骨格標本作りを行います。また、ジビエの試食も行います。

ジビエ試食：30食(一食200円)

骨格標本作り：10人

樹液シロップの作り方講習もありますよー！



● 3月20日(金・祝)「ねいの里の春見つけと化粧炭工作入門」

9:30～12:00 集合場所：ねいの里 対象者：一般
早春に咲く花やカエルの卵などを観察し、園内で採取した木の実などで化粧炭を作ります。

化粧炭作り：20組



***** 〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉 *****
受付開始は、行事实施の約1ヵ月前からになります。

■ 企画展

11月27日～3月30日 [ロードキル写真展]

人だけでなく多くの生き物も交通事故で命を落としています。交通事故にあった生き物の写真を展示します



12月14日～1月19日 [春の七草実物展]

春の七草や七草と間違えやすい野草の実物を展示します。



「ねいの里自然塾の会」会員の皆様へ

「ねいの里自然塾の会」の運営委員会及び総会を行います。(当日の行事終了後)

運営委員会：2月11日(火・祝) 15:30より(都合により時刻を変更)

総会：3月20日(金・祝) 12:30より

○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>